



神戸大学

(楠地区 医学研究科・医学部及び医学部附属病院)

〒650-0017 神戸市中央区楠町7丁目5番1号

学務課総合臨床教育センター

TEL: 078-382-6979

ホームページアドレス <http://www.med.kobe-u.ac.jp/>

交通案内

- 神戸市営地下鉄「大倉山」駅から徒歩5分
- JR「神戸」駅及び
神戸高速鉄道「高速神戸」駅から徒歩15分
- JR「神戸」駅より神戸市バス9系統、110系統
もしくは112系統に乗車、約5分
「大学病院前」バス停下車
- JR「神戸」駅からタクシー約5分
- JR「新神戸」駅からタクシー約10分



平成31年度

「神戸大学・神戸薬科大学薬剤師レジデント」 募集要項



神戸薬科大学

Kobe Pharmaceutical University

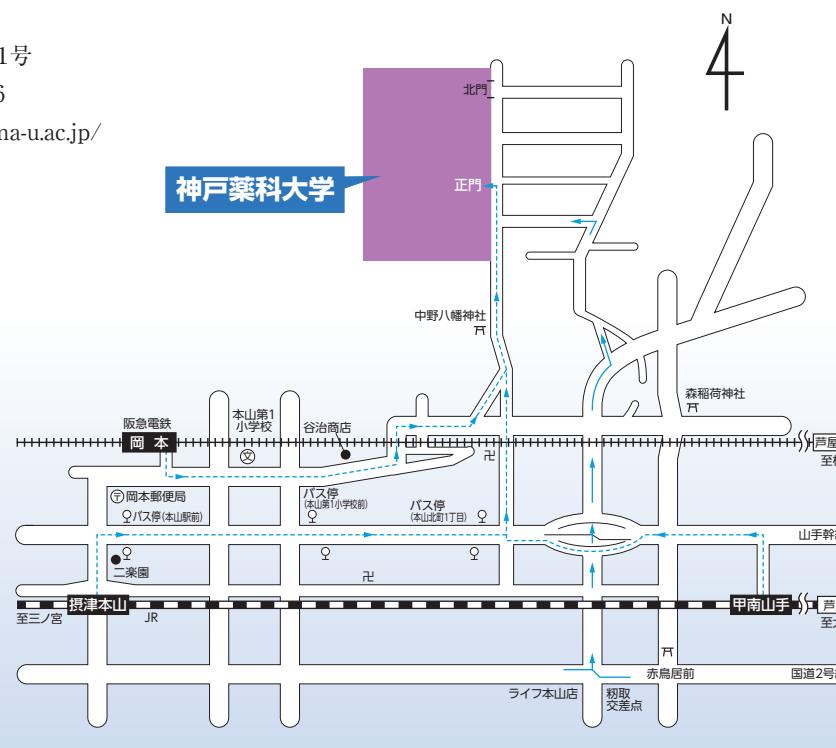
〒658-8558 神戸市東灘区本山北町4丁目19番1号

TEL: 078-453-0031 FAX: 078-441-7506

ホームページアドレス <http://www.kobepharma-u.ac.jp/>

交通案内

- JR線: 摂津本山駅(新大阪駅から35分、大阪駅から27分、JR三ノ宮駅から12分、普通電車のみ停車)下車、北東方向へ徒歩15分
- JR線: 甲南山手駅(新大阪駅から33分、大阪駅から25分、JR三ノ宮駅から14分、普通電車のみ停車)下車、北西方向へ徒歩13分
- 阪急電鉄: 岡本駅(梅田駅から30分、神戸三宮駅から15分、特急、急行、普通電車停車)下車、徒歩15分



神戸大学
神戸薬科大学

平成19年7月に神戸大学と神戸薬科大学が連携協定を締結し、この協定に基づき、両大学の教員で構成する「薬剤師レジデント運営委員会」では、実践的で先端的な臨床能力を備えた薬剤師を育成するために「薬剤師レジデント教育プログラム」を開発し、平成21年度より薬剤師レジデント制度を開始しました。

プログラム1年目は、神戸大学医学部附属病院薬剤部における新入局薬剤師と同等の研修内容を含んだ、調剤、薬品管理、注射剤調剤、院内製剤の調製、抗がん剤ミキシング、医薬品情報、TDM、治験薬管理等の研修を行います。プログラム2年目（アドバンスコース）は、がん化学療法、緩和医療、感染制御、栄養サポート、治験支援等、チーム医療を推進する専門領域別チームに参加し、多職種連携協働（IPW）による患者への薬物治療への積極的関与について知識・理解を深めていきます。

さらに、薬学部5年次学生に実施される長期実務実習において、神戸大学医学部附属病院での学生の実習指導及び神戸薬科大学における実務実習事前教育の指導補助も行うことから、薬剤師としての即戦力・指導力の向上も図るものとしています。

また、神戸大学医学部及び大学院医学研究科の講義（一部）や神戸薬科大学大学院特論講義を聴講することができ、最新の医療に関する知識も習得できます。年度末に開催する研修報告会では、薬剤師レジデント1年間の研修成果発表を行い、その活動内容を評価します。

そして1年目と2年目（アドバンスコース）の修了時には、神戸大学と神戸薬科大学の両学長名で修了証明書を交付します。

なお、採用の所属及び身分については、神戸薬科大学非常勤職員となります。

この度、下記の要領で平成31年度の薬剤師レジデントを募集いたしますので、皆様のご応募をお待ちしております。

募集人員	▶ 3~4名
応募資格	▶ 薬剤師免許登録者、又は採用年の3月に薬学部卒業見込、大学院（修士・博士課程）修了見込の者で、採用年内に薬剤師免許登録ができる者。
研修期間	▶ 1年間（平成31年4月1日から平成32年3月31日まで）。ただし、引き続きアドバンス研修として2年目の研修を行い、研修期間を最長2年間（平成31年4月1日から平成33年3月31日まで）とするものとする。なお、アドバンス研修希望者が多数の場合には、別途選抜を行うことがあります。
研修場所	▶ 神戸大学、神戸薬科大学
提出書類	<p>▶ 下記書類を、書留、簡易書留、特定記録郵便のいずれかで郵送してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.薬剤師レジデント応募用紙（ホームページからダウンロード可） 1通 2.成績証明書（大学あるいは大学院） 1通 3.薬剤師免許証の写し（登録者のみ） 1通 4.推薦書（3月薬学部卒業見込み者のみ） <ul style="list-style-type: none"> ・封筒に「薬剤師レジデント応募書類在中」と朱書きすること。 ・提出書類は返却いたしません。また、応募に関する一切の個人情報は、選考以外の目的で使用することはありません。
応募締切	▶ 平成30年6月12日（火）必着
選考日時	▶ 平成30年6月17日（日）13:00~
選考会場	▶ 神戸薬科大学
選考方法	▶ 神戸大学と神戸薬科大学の教員が、選考日に実施する小論文と面接の結果を総合的に判断して選考する。 小論文は400字詰め原稿用紙1~2枚程度、テーマは当日伝える。
選考結果	▶ 平成30年6月18日（月）（本人宛に通知書発送） ただし、選考に合格した者であっても、その採用年内に薬剤師免許登録ができない場合は採用しない。
給与等	▶ 給与月額20万円、社会保険（私学共済に加入）、交通費支給
研修時間	▶ 8:30~17:15（月～金） 2年目に、休日における日勤の補助業務が月1~2回あり。
休日	▶ 原則、土、日、祝日
年次有給休暇	▶ 年間10日
学会参加	▶ 発表者としての国内学会出張費用（参加費、交通費、宿泊費）を年間2回まで支給
応募先	▶ 神戸薬科大学事務局総務課（担当：藤塚、岸） (問合せ先) ☎658-8558 神戸市東灘区本山北町4-19-1 TEL:078-453-0031(代) FAX:078-441-7506 E-mail : soumu@kobepharma-u.ac.jp

研修内容

研修期間が1年間の場合

薬剤業務研修及び医学部学生・薬学部学生の臨床教育指導補助

- ・調剤、薬品管理、注射剤調剤、院内製剤の調製、抗がん剤ミキシング、医薬品情報、TDM、治験薬管理等の研修を行う。
- ・早期から病棟での持参薬の服用確認、薬剤管理指導業務、病棟・チーム医療研修等に関わることで、病院薬剤師としてのスキルを学ぶ。
- ・医学部3年次薬理学PBL、4年次臨床医学基本実習、多職種連携協働（IPW）演習にて指導補助を行う。
- ・薬学部学生の実務実習（事前教育含む）・OSCEの指導補助を行う。
- ・神戸大学医学部及び大学院医学研究科の講義（一部）や神戸薬科大学大学院特論講義を聴講することができる（原則後期から）。
- ・年度末に開催する研修報告会での研修成果発表と口頭試問による修了の認定審査を神戸大学・神戸薬科大学薬剤師レジデント運営委員会により行う。
- ・神戸大学と神戸薬科大学の両学長名で薬剤師レジデント修了証明書を交付する。



修了証明書

研修期間を2年間とし、2年目のアドバンス研修を希望する場合：以下の研修を行う。 アドバンス研修内容：専門領域別チーム医療研修と薬学生の実務実習指導補助

- ・がん化学療法、緩和医療、感染制御、栄養サポート、治験支援等、チーム医療を推進する専門領域別チームに参加し、多職種連携協働（IPW）による患者への薬物治療への積極的関与について研修する。
- ・薬学部学生の実務実習（事前教育含む）・OSCEの指導補助を行う。
- ・月に1~2回の休日薬剤業務補助等を行う。
- ・神戸大学医学部及び大学院医学研究科の講義（一部）や神戸薬科大学大学院特論講義を聴講することができる。
- ・年度末に開催する研修報告会での研修成果発表と口頭試問による修了の認定審査を神戸大学・神戸薬科大学薬剤師レジデント運営委員会により行う。
- ・神戸大学と神戸薬科大学の両学長名で薬剤師レジデント修了証明書（アドバンスコース）を交付する。

※臨床科目の聴講

<神戸大学科目例>

がんプロフェッショナル養成特論等、医学部及び大学院医学研究科の講義

<神戸薬科大学大学院科目例>

（ ）の数字は開講年度を示す。

修士課程

総合医薬品化学特論（31）、病態解析治療学特論（31）、生命科学特論（31）、医療薬科学研修特論（31・32）、

物理系基礎創薬学特論（32）、医薬品研究開発特論（32）、薬剤学特論（32）

博士課程

臨床薬剤学特論（31）、病態薬理生化学特論（32）、疾患解析治療学特論（32）

例 レジデント1年目の一日

	8:30	12:30	13:15	17:15
月	薬剤業務		病棟研修	☆
火	調剤・薬品管理		病棟薬剤業務	☆
水	注射剤調剤・院内製剤	昼 休 み	薬剤管理指導業務	☆
木	抗がん剤ミキシング		臨床教育指導補助	☆
金	DI・TDM・持参薬管理			☆
土				
日				

【月】服薬ミーティング

【火】スキルアップセミナー・学会報告等

【水】医療安全のための連絡会・新薬勉強会

【木】スキルアップセミナー・学会報告等

☆:研修会、大学院特論等の聴講や課題研究

例 レジデント2年目の一日（アドバンスコース）

	8:30	12:30	13:15	17:15
月	薬剤業務・チーム医療		病棟研修	☆
火	がん化学療法・緩和医療		病棟薬剤業務	☆
水	感染制御・栄養サポート		薬剤管理指導業務	☆
木	治験支援、ICU		薬学生実務実習指導補助	☆
金	手術サテライトファーマシー			
土	○			
日	○			

【月】服薬ミーティング

【火】スキルアップセミナー・学会報告等

【水】医療安全のための連絡会・新薬勉強会

【木】スキルアップセミナー・学会報告等

☆:研修会、大学院特論等の聴講や課題研究

○:休日薬剤業務を月に1~2回